



2017. 06

第 7 号

[発行者] ふるさと創生協議会事務局 岩手大学COC推進室 Tel. 019-621-6053 E-mail cocplus@iwate-u.ac.jp

外部評価委員会を開催しました

5月22日、COC+外部評価委員会が岩手大学で開催されました。本委員会は、ふるさと創生プロジェクトの取り組みに関して第三者による客観的な評価を実施するために設置された組織です。



秋保裕子氏、経済産業省東北経済産業局 遠藤憲子氏、公益社団法人経済同友会常務理事 岡野貞彦氏、弘前大学副理事 曾我亨氏の全委員にご出席頂きました。

はじめにふるさと創生協議会会長である岩淵明岩手大学長より挨拶があり、続いて小野寺純治 COC+推進コー

委員会には、共愛学園前橋国際大学長 大森昭生氏(委員長)、一般社団法人 RCF

ディネーターより自己点検評価書に基づいて本事業全体や平成27年度及び平成28年度の実績について説明を行ったのち、質疑応答において各委員から忌憚のないご意見、ご質問を頂きました。



最後の大森委員長からの講評では、様々な取り組みが展開されており、ふるさと創生創生人材育成の基盤が構築されている点、全国的にも珍しい地域志向型インターンシップを実施している点等は評価できる半面、産業界との関係についてはさらなる連携強化が望まれるとの指摘を頂きました。

今回の評価結果を踏まえながら、高等教育機関、自治体並びに産業界とより一層の連携を図り、事業協働機関が一丸となって本事業を今後も着実に展開していきます。

第2期いわてキボウスター開拓塾がスタートしました

岩手を変える地域リーダー(起業家・事業者)と学生がコラボレートしながら起業を学ぶプログラムとして平成28年度よりスタートしたいわてキボウスター開拓塾。その第2期が4月22日より開講しました。地域リーダーとの現場でのフィールドワークを中心とした第1期と異なり、今期はマーケティングやファイナンスなどビジネスに必要な知識を座学で学びながら、地域リーダーの指導のもと参加学生自らがビジネスプランを作成します。学生は地域リーダー1人に対し4人程度のゼミチームを構成し、ゼミ長である地域リーダーからアドバイスを受け、お互いの切磋琢磨しながらそれぞれのビジネスプランを練り上げていきます。各チームの中で特に優れたビジネスプランを作成した1~2名に8月の最終報告会で発表するチャンスが与えられます。

今期の参加学生は総勢21名。岩手大学、岩手県立大学、富士大学、盛岡大学に加え、前回は応募がなかった一関工業高等専門学校の学生からも応募があり、参加の輪が広がった形となりました。また、第1期からの継続参加となる学生も5名おり、先



輩メンバーと後輩メンバーが手を携え、励まし合いながら、活動を実りあるものにしていてもらいたいと思います。

4月29日~30日には第2期の初授業として釜石市で合宿が行われました。合宿では甲子地区活性化協議会、一般社団法人根浜 MIND など釜石に根差した団体の地域における取り組みについてお話を伺ったり、釜石ローカルベンチャーについての講義や座談会を行うなど釜石の地域活動やビジネスについて理解を深めるとともに、各自のビジネスプランをブラッシュアップするためのワークショップや起業に関する講義を実施しました。

ゼロからビジネスプランを作り上げていくのは想像以上に変な作業ですが、高いハードルに全力で取り組み、各自納得のいく成果が出せるよう、学生たちの奮闘に期待したいと思います。

■第2期地域リーダー(ゼミ長)

セルスペクト株式会社 岩淵拓也氏
株式会社銀河農園 橋本正成氏
株式会社ホップス 工藤昌代氏
株式会社花巻家守舎 小友康広氏
株式会社長栄館 照井貴博氏

参加高等教育機関の取り組み状況 ～富士大学～

富士大学は、県内唯一の経済単科大学として経済・経営・法学系の専門職業人育成を使命としています。学生のほぼ7割は県外出身ですが、県内出身者の地元就職率は約87%と高く、県内比率向上が課題です。平成28年度には県内各地の自治体から学生を受け入れ、4年後には地域を担う人材として送り返す「地域定住人材育成プログラム(DHC)」をスタートさせました。地域課題解決型の科目を新設し、地域の行政、金融機関、若手経営者らと一体となって学生の起業家意識を育てていく取り組みも始めています。

地域創生論

4月から7月までの15回にわたり、地方自治体の首長や民間人を外部講師として招き、一般市民や行政関係者も聴講する市民開放講座とし、学生の地域づくりに取り組む主体的意識を高めています。

女子学生のためのキャリア形成論

4月から7月までの15回の講義で、総合色彩プロデューサー、杜社、県議会議員などで活躍する5名の女性外部講師を招き、一般市民も参加する女子学生のための講義として開講。女性の多様な働き方に対する視野を広げています。

地域金融論

11月から1月までの3ヶ月にわたる花巻信用金庫職員による提供講座。金融実務の基礎知識を現場職員から学び、また、市内の若手経営者が経営するワイナリー、工作会社、染工業等のフィールドワークを行い、地域企業を支援する地域金融の役割を理解し、若手経営者の地域づくりへの情熱を学んで学生の起業家意識を高めています。

陸前高田グローバルキャンパスがオープンしました

陸前高田市の協力のもと、岩手大学と立教大学による交流活動拠点、陸前高田グローバルキャンパス(愛称:たかたのゆめキャンパス)が4月25日にオープンしました。

市民や両大学関係者合わせて120名が参加した開式では、テープカットに続いて、岩手大学の岩淵明学長と立教大学の吉岡知哉総長からの挨拶のあと、千葉茂樹岩手県副知事(達増知事代理)、戸羽太陸前高田市長から祝辞を頂きました。また、陸前高田市でALT(外国語指導助手)として勤務し、東日本大震災による津波で亡くなったモンゴメリ・ディクソンさんの姉、シェリー・フレドゥリクソンさんからも挨拶を頂きました。

本キャンパスでは統合で空き校舎となっていた旧高田東中校舎

を活用し、2、3階の一部の教室を改修して講義室、研究室、ワークショップルームなどを整備しています。「学びを通してつなぐ」、「学びを通してつたえる」、「学びを通してつくる」という3つの事業コンセプトのもと、全国の陸前高田ゆかりの大学関係者と市民が集うシンポジウムの開催や自治体職員向けの防災研修プログラム、市民向けの教養・実用的講座の実施などさまざまな事業の展開を予定しており、今後、研究や教育、市民交流の拠点として幅広い場面での利用が期待されます。



「ふるさと発見!大交流会 in Iwate」を11月に開催します

岩手の次代を担う若者に県内の様々な産業・社会活動を知ってもらい、地域の魅力を再発見してもらうことを目的として、岩手大学第一体育館をメイン会場に県内企業や自治体、民間団体、大学・学生グループ等の活動を一堂に展示・紹介する大交流イベント「ふるさと発見!大交流会 in Iwate」を11月19日(日)に開催します。

このイベントでは学生と社会人の垣根を取り払い、出展する側も観る側も真剣に渡り合いながら理解し合う、双方向イベントを目指しています。事前に出席団体を学生が取材することで企業等の魅力発信力を高めるとともに、県内高校生も招待し、岩手の未来を担う若者への情報発信・共有の場とします。



ふるさと創生部では昨年12月に実施した先進事例調査で島根県の「しまね大交流会」を視察しましたが、この「しまね大交流会」で全体統括・総監督を務めている島根大学地域未来戦略センター COC+事業部門長 高須佳奈先生をお招きして、高等教育機関、自治体、産業界の関係者による事前勉強会を4月20日に開催しました。当日は「しまね大交流会」の開催に際して工夫した点や苦労したことなどをお話し頂き、関係者間でイベント開催に向けた意識を共有しました。今後、イベントの詳細については、本レターなどを通じて皆様にお知らせする予定です。

地域志向型インターンシップ 合同プレゼンテーションを開催しました

昨年度、岩泉町が率先して実施した“地域志向型インターンシップ”(一つの企業で学生を受け入れるのではなく、地域全体で受け入れる新たな形のインターンシップ)。岩泉町の事例を参考にしながら、今年度はたくさんの地域で、それぞれの特徴を生かした斬新なインターンシップが誕生しました。

「インターンシップ in 東北」サイトからの学生エントリーがスタートした5月31日、岩手県立大学講堂において、地域志向型インターンシップ合同プレゼンテーションが行われ、それぞれの地域でインターンシップをコーディネートするみなさんが、熱いプレゼンテーションを繰り広げました。たくさんの学生がプレゼンテーションに



耳を傾け、終了後の会場出口でのチラシ配布には長い列ができるほどで、関心の高さが伺えます。今夏のいわてのインターンシップは、どこよりも熱く面白いものになりそうです。

紹介されたインターンシップ

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| ① IWATE実践型インターンシップ | ⑤ インターンシップ in にのへ |
| ② 未来図書館 NPO×若者×子ども達 長期インターン/学生サポーター | ⑥ 葛巻型インターンシップ |
| ③ 岩泉型インターンシップ | ⑦ いわて農業キャリアデザイン支援研修 |
| ④ 学生の学生による学生のための インターンシップ in にしわが | ⑧ 北上市インターンシップ交通費助成事業 |
| | ⑨ ジョブカフェいわて×株式会社岩手日報社 |